

平成 19 年 7 月 12 日  
東京電力株式会社  
柏崎刈羽原子力発電所

## 7 月定例所長会見における高橋所長挨拶内容

本日は、私の就任後、初めての定例会見となります。前任の千野所長の任務をしっかり引き継ぎ、再発防止対策に取り組むとともに、社会・地域の視点に立った発電所運営を行うことに全力を尽くしてまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。私からは 4 点申し上げます。

まずは、一連の不正・改ざん問題における再発防止対策の取り組みについてです。社会・地域の視点に立った取り組みとしては、先月の下旬から今月上旬にかけて実施した「ふれあい訪問」のような対話活動の充実のほか、対話活動を通じていただいた地域の皆さまの声に関する情報を共有し、それを発電所の業務運営へ反映・検討することを目的とした「地域の声委員会」を 4 月に発足し、毎月開催しております。これまでに 3 回開催する中で、委員会の進め方などが固まり、運営が軌道に乗ってきたところです。

今般、本委員会の審議概要について、当発電所のホームページ上に公開しております。今後、折に触れて当発電所のホームページサイトをご覧いただければと思います。

また、去る 5 月 7 日に、経済産業省から原子炉施設保安規定の変更命令を受けましたが、想定外の制御棒引き抜け事象に関連する事項について、6 月 22 日に、変更認可申請を行い、過日、7 月 9 日に、認可を受けました。今後は、想定外の引き抜けが発生した時の報告方法や発生時の対応が明確になりましたので、適切に対応してまいります。

なお、経営責任者の関与、原子炉主任技術者の位置付けなど、その他の変更命令につきましても、準備が整い次第 7 月末までに申請したいと考えております。

今後も、ヒューマンエラーやトラブルの減少、業務品質の向上にしっかりと取り組むとともに、「しない風土」と「させない仕組み」をさらに徹底・強化し、新たに構築した「言い出す仕組み」を充実させるなど、再発防止対策を着実に実行してまいります。

2 点目は、安全協定の一部改定についてです。

6 月 18 日、新潟県、柏崎市ならびに刈羽村と当社との間で締結しております安全協定について、その一部を改定いたしました。

今回の改定は、発電所トラブル等内部情報の受付窓口の設置や、当社の協力企業を含めたコミュニケーション強化による相互理解促進など、新潟県、柏崎市、刈羽村の三者が、県民の皆さまの安全・安心を確保するため、より積極的に取り組んで

いただけることが規定された、という意味で意義深いものと考えております。

当社としても、今般改定した安全協定の内容を尊重し、地元行政としっかりと協調し、対応してまいりたいと思います。

3点目は、環境 ISO の更新審査についてです。

当発電所は、2001年8月に環境 ISO14001 の認証を取得し、環境マネジメントシステムの PDCA プロセスに則った環境管理を実践しておりますが、6月11日からの3日間、認証機関による更新審査を受審しております。7月2日には、審査チームより「更新が妥当である」との審査報告書をいただいておりますが、正式な更新審査結果については、今後、交付されることになっております。

4点目に、夏休み恒例のイベントについてご紹介します。

主なイベントは、お手許の「NEWSアトム7月号」にも記載されておりますが、地域の科学技術文化の発展を支援する事業として毎年8月に開催している「ジュニアサイエンスアカデミー」は、本年度で10回目となります。この他にも、TEPCO 刈羽ふれあいサロン「き・な・せ」で開催する、「き・な・せ農涼まつり」やサービスホールにおける各種ミニイベントなどを開催する予定です。

最後になりますが、私がこの柏崎刈羽の地に赴任するのは、建設所での勤務以来、19年ぶり2度目となります。1号機から7号機までの建設に関わってきたので、私にとって、とても愛着のある発電所です。このような愛着のある発電所に再び戻ってくることができ、大変うれしく思っている次第です。

私は、今後、自らが先頭に立って、地域の皆さまとふれあい、皆さまの声を真摯に受け止め、地域の皆さまにとっても誇れる発電所となるよう努力してまいりますので、前任に引き続き、なお一層のご指導・ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

以上

添付)

- 柏崎刈羽原子力発電所 DATA・BOX
- プレス公表(運転保守状況)

# 柏崎刈羽原子力発電所DATA・BOX(平成19年7月)

発電所運転状況

平成19年7月12日

プラント名	現在の 運転(発電)状況	前回定期検査	過去1年間の運転状況							補足説明	
			8	9	10	11	12	1	2		3
1号機 110万kW (S60.9.18運開)	第15回定期検査中 停止期間:H19.5.4~	第14回 H17.6.14 ~ H18.5.30 停止期間 H17.6.14 ~ H18.4.30 (321日) (原子炉起動H18.4.26)	第15回定期検査による停止							[2号機] ・7月4日、タービン建屋地下1階に設置している蒸気加減弁の油圧駆動装置2台から油の滴下を確認。点検、原因の調査および補修を行うため、7月4日から原子炉の停止操作を開始し、7月5日に発電を停止。(お知らせ済み)  [6号機] ・7月2日から7月6日にかけて圧力抑制室の点検を実施し、ゴミ(テープ片)を回収。	
2号機 110万kW (H2.9.28運開)	第12回定期検査中 停止期間:H19.2.19~H19.6.10 H19.7.5~	第11回 H17.9.3 ~ H18.5.9 停止期間 H17.9.3 ~ H17.12.25 (114日) (原子炉起動H17.12.22)	第12回定期検査による停止								
3号機 110万kW (H5.8.11運開)	運転中	第9回 H18.5.12 ~ H18.9.15 停止期間 H18.5.12 ~ H18.7.27 (77日) (原子炉起動H18.7.24)	原子炉手動停止								
4号機 110万kW (H6.8.11運開)	運転中	第9回 H18.4.9 ~ H19.1.11 停止期間 H18.4.9 ~ H18.12.14 (250日) (原子炉起動H17.12.11)	第9回定期検査による停止								
5号機 110万kW (H2.4.10運開)	第12回定期検査中 停止期間:H18.11.24~	第11回 H17.7.4 ~ H17.11.2 停止期間 H17.7.4 ~ H17.10.8 (97日) (原子炉起動H17.10.8)	第12回定期検査による停止								
6号機 135.6万kW (H8.11.7運開)	第8回定期検査中 停止期間:H19.5.24~	第7回 H17.12.10 ~ H18.5.12 停止期間 H17.12.10 ~ H18.4.13 (125日) (原子炉起動H18.4.10)	第8回定期検査による停止								
7号機 135.6万kW (H9.7.2運開)	運転中	第7回 H18.8.23 ~ H19.1.11 停止期間 H18.8.23 ~ H18.12.5 (105日) (原子炉起動H18.12.2)	第7回定期検査による停止								

プラント名欄に記載してある出力は「定格電気出力」

発電所設備利用率(%) (6月末現在)	
6月	53.0%
19年度累計	56.9%
運転開始後累計	76.9%

発電所発電電力量(万kWh) (6月末現在)	
6月	313,319
19年度累計	1,020,512
運転開始後累計	80,047,405

ドラム缶発生量(本) (H18年度第4四半期)	
当期発生本数	746
貯蔵庫累積貯蔵本数	21,714
貯蔵庫保管容量	30,000

使用済燃料貯蔵体数(体) (H18年度第4四半期)	
使用済燃料貯蔵プール貯蔵体数	11,856
使用済燃料貯蔵プール管理容量	16,915
使用済燃料貯蔵プール貯蔵容量	22,479

## 構内従業員データ(人) (7月2日現在)

		東京電力	協力企業	比率
県内	柏崎市	806	2,697	53%
	刈羽村	81	279	5%
	その他	76	875	14%
	小計	963	3,851	73%
県外		119	1,655	27%
合計		1,082	5,506	-
		6,588	100%	
協力企業社数(社)		676		

「比率」について端数処理の関係で数値と計が合わない場合がある。

## 来客情報(人) (6月末現在)

	6月	年度累計
地元	819	3,741
県内	1,696	5,726
県外	2,184	5,370
国外	41	101
合計	4,740	14,938

## 今後の主なスケジュール

予定日	内容
7月14~8月26日 (土・日曜、祝日)	夏休み特別企画「発電所構内バス見学」(サービスホール) (7月28・29日「ミニ縁日」)
7月21日	Team ECO Work! 83 森づくり ACTION IN 柏崎・夢の森公園
7月28日	農涼まつり(き・な・せ)
8月9日	次回定例所長会見予定
8月10日~16日	サービスホール夏休みイベント(サービスホール) (「発電所構内バス見学」、「縁日」、「お楽しみ企画」他)
8月11・12・19日	第10回ジュニアサイエンスアカデミー
8月15日	Comfy サマーコンサート(カムフィー)
8月19日	ミュージックライブ アット カムフィー(カムフィー)
8月23・24日	ポリマークレイ教室(柏崎エネルギーホール)
8月25日	ポリマークレイ教室(き・な・せ)

インターネットホームページアドレス  
<http://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/index-j.html>

東京電力株式会社  
 柏崎刈羽原子力発電所  
 広報部  
 0257-45-3131(代)

## プレス公表（運転保守状況）

No.	お知らせ日	号機	件名	内容
	6月14日	6号機	原子炉建屋内での水漏れについて（区分）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期検査中の6月13日、原子炉建屋地下2階にある原子炉冷却材浄化系の弁室内で、分解点検中の弁開放部に取り付けていた養生用ビニール袋が外れ、床面に水が漏れていることを当社社員が発見した。</li> <li>・床面に漏れていた水の量は約30リットル、放射エネルギーは約<math>7.5 \times 10^5</math>ベクレルで、すべて当該室内にとどまっており、排水および拭き取りにより処理した。</li> <li>・原子炉冷却材浄化系排水ラインは弁の点検のため水抜きされていたものの、原子炉建屋低電導度廃液サンプポンプから水が流れ込み、当該弁の開放部より漏れたもの。</li> <li>・今後、当該弁の分解点検については、サンプポンプの起動防止処置を行った上で実施することとする。</li> </ul> (前回お知らせ文) <a href="http://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/press_kk/2007/pdf/19061401.pdf">http://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/press_kk/2007/pdf/19061401.pdf</a>
	6月20日	6号機	原子炉建屋内での水漏れについて（区分）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期検査中の6月19日、原子炉建屋1階にある主蒸気配管トンネル室に設置されているファンネル（排水受け容器）の蓋の隙間から水が漏れ出していることを当社社員が発見したことから、ファンネルにつながる水抜き弁を閉めて漏えいを停止させた。</li> <li>・床面に漏れ出した水の量は約2リットル、放射エネルギーは約<math>6 \times 10^5</math>ベクレルで、すべて当該室内にとどまっており、拭き取りにより処理した。</li> <li>・原子炉給水系機器等の点検終了に伴い、同系統の水張り作業を行っていたところ、閉めるべき水抜き弁が開いていたためファンネルに水が流れ込み、蓋の隙間から漏れ出したもの。</li> <li>・弁の操作に際しての指差呼称を再徹底するとともに、運転員全員に対して事例検討を実施し、周知徹底を図ることとする。</li> </ul> (前回お知らせ文) <a href="http://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/press_kk/2007/pdf/19062001.pdf">http://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/press_kk/2007/pdf/19062001.pdf</a>
	6月27日	1号機	協力企業作業員の体調不良について（区分）	- (前回お知らせ文) <a href="http://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/press_kk/2007/pdf/19062701.pdf">http://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/press_kk/2007/pdf/19062701.pdf</a>
	7月4日	2号機	タービン制御系の油漏えいに伴う点検停止について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調整運転中の7月4日、タービン制御系の油が漏れていることを示す警報が発生。直ちに現場を確認したところ、タービン建屋地下1階に設置しているタービン蒸気加減弁の油圧駆動装置4台のうち2台から油が滴下していることがわかった。滴下した油は当該弁の下に設置してある油受けにて全て回収している。</li> <li>・本事象は直ちに運転に影響を及ぼすものではないが、点検、原因の調査および補修を行うため、同日、プラントの停止操作を開始。5日に発電を停止した。</li> </ul> (前回お知らせ文) <a href="http://www.tepco.co.jp/cc/press/07070401-j.html">http://www.tepco.co.jp/cc/press/07070401-j.html</a>